



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薮町長屋1963

(株)エホリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



暖冬だと油断をしていたら急な寒波で木枯らしが吹き、体調が崩れてしまう方も多いのではないのでしょうか。今年もあっという間に師走です。師走と聞くと、年末は先生が忙しく走り回るからと思っていましたが、「師」は僧侶のことで、昔はこの時期に家々で仏事を行う習慣があり、僧侶が忙しく各地を訪れることから、とする説が有力なようです。他にも「年の瀬」という表現もありますが、これは流れの早い川を指す「瀬」から年末の忙しさを形容したものとして使われますね。

さて、地域課題への取り組みや地域活動は、様々な切り口がありますが、今回は当ネットワークの会員でもある鈴鹿高専の橋本先生に高専の活動からご紹介いただきます。



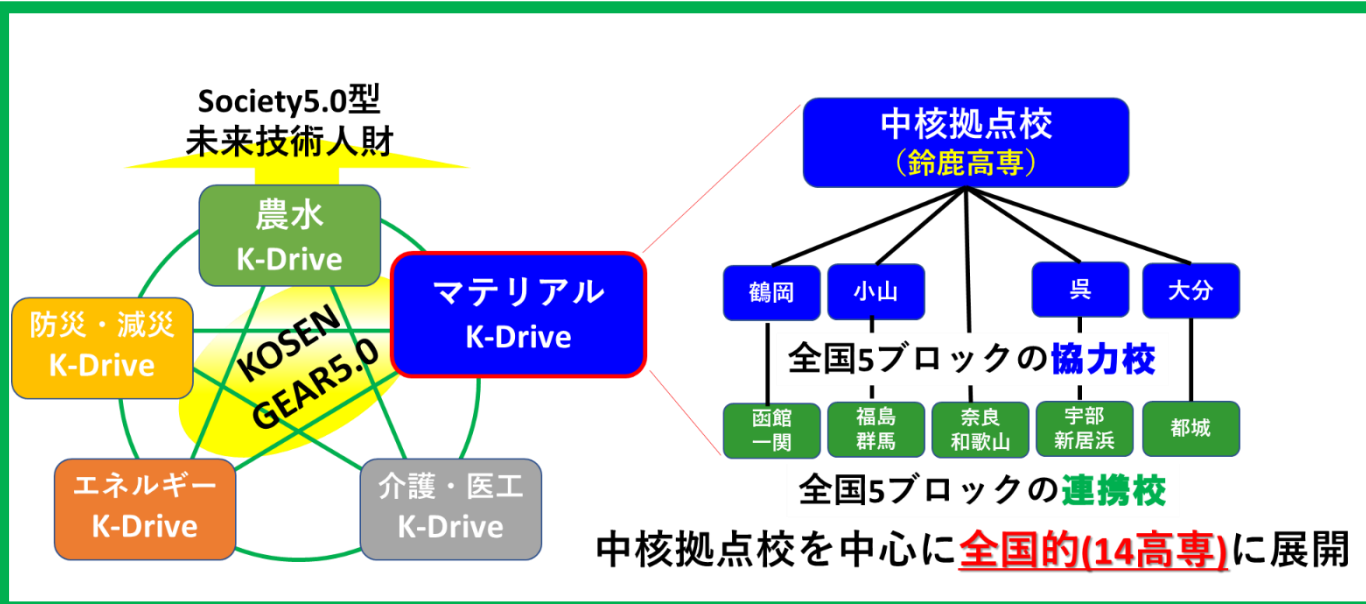
【はじめまして】

鈴鹿工業高等専門学校(鈴鹿高専)、電気電子工学科の橋本良介と申します。

私は、生まれは三重県会郡度会町で、鈴鹿高専出身のOB 教員として2016年に母校に戻ってまいりました。私が着任してから早8年が経過しようとしています。この8年間で携わってきた活動について紹介したいと思います。

昨年度(令和4年度)は、国立高専が創立60周年を迎えまして、鈴鹿高専も1期校として60年が経ったこととなります。この長い歴史から見るとわずか8年間ですが、教育や研究で大きな変革があったと感じています。

まずは、その中でも特徴的な事業として、**GEAR5.0**という事業からご紹介します。



【事業概要】

GEAR5.0 事業は、近い将来やってくる**未来技術をリードする人材を育成**するために全国の高専が協力して新しい教育システムを構築することが目的です。

鈴鹿高専は、**全5分野のうち、マテリアル(材料)分野のリーダー校**として2020年からこの事業に取り組んでいます。

この事業には、全国の14の高専が協力校・連携校としてチームを組んでいます。(左図)

【地域の課題をオール高専で解決！】

この事業の目指すところは、限られた資源をフルに活用できる**バーチャルな研究所**の設立です。(右図)

インターネットを通じて全国各地に散らばる高専を連携し、分析機器や専門家といった設備・人材の共有化を図り、これまでは難しかった課題の解決を目指します。2020年以降、オンライン会議ツールの活用が一気に進みました。こうした流れの中で、現在は自分のオフィスに居ながら、リモートで離れたところの実験装置を動かすことが可能になりました。

課題

既存の連携スタイルでは、研究成果の展開に限界がある。

限られた人財・設備から脱却し、研究成果の社会実装を加速・実現したい。

K-CIRCUIT

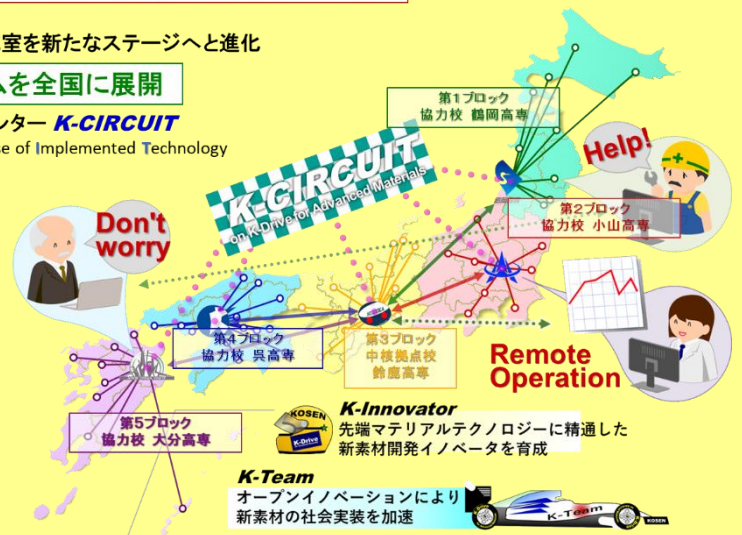
産学官協働研究室を新たなステージへと進化

高専ネットワーク採用産学協働研究チームを全国に展開

KOSEN連携社会実装技術イノベーション・リサーチセンター **K-CIRCUIT**
KOSEN Center for Innovative Research, Collaboration, and the Use of Implemented Technology

K-CIRCUITによる産学官連携展開の強み

- 地域に密着して企業ニーズを広く抽出
- 企業ニーズの内容に応じて得意な高専に対応を分散できる。
- 地域に密着した教職員が窓口となり、技術相談の敷居が下がる。
- 豊富な研究・教育設備を活用して、細やかな人材育成を実践できる。



【学生教育の進化】

学生教育の在り方もずいぶんと変わってきました。従来型の教室で先生が前に立って授業をするスタイルから、**より現場志向型の教育**に置き換わってきました。例えば、本校に GEAR5.0 の協力校を合わせた5高専が共同で学生を集めて、材料分析に精通した学生を育成する取り組みを行っています。(左写真)

【高専教育の国際化】

今年の11月には高専教育や、先の GEAR5.0 事業の国際的な展開を狙ってフィンランドを訪問し、トゥルクという町にあるオーボ・アカデミー大学とトゥルク応用科学大学を訪問しました。この両大学は非常に対称的で、オーボ・アカデミー大学は歴史を感じる建物で、一見すると美術館のような佇まいに驚きました。一方で、トゥルク応用科学大学は、近代的なビルの中にある大学で、今風の印象を受ける大学でした。

残念ながら11月は雪化粧とはならず、また滞在期間は3日ほどと、とても短いものでしたが、フィンランドの歴史ある街並みや建造物、西洋の工学教育の在り方を学ぶ上で大変実りある訪問となりました。

昔は「高専は英語に弱い」と言われることもありましたが、近年は国際化を積極的に図っています。



ヘルシンキ駅



オーボ・アカデミー大学(手前が私)



トゥルク城



トゥルク大聖堂

【地元住民向けセミナー】

私はこれまでに市民向けのセミナーをいくつか行っています。

本来であれば電気に関する内容のセミナーを開催するべきかもしれませんが、内容が専門的になりすぎるのも退屈かもしれないので、自分の趣味と専門性を活かして『映画技術』に関するセミナーを開催しました。

右図は、2019年10月に開催した「すずか市民アカデミー/まなベル」の講演内容です。映画技術論入門として、映画撮影によく使われるレンズのような技術的な紹介や、映画監督という職業の役割、Film Analysis と呼ばれる映画分析学に関する入門セミナーを行いました。



今月(12月)には、玉城町立有田小学校で UDAMURA ACADEMY、『スクリーンの世界へご案内「映画の見方」学!』というタイトルで、映画を鑑賞する楽しさや映画にちなんだエピソード、近日中に上映される注目映画などをご紹介します。映画は、皆様が気楽に楽しむことができる娯楽的側面だけでなく、よく考えて観る映像表現の学問的側面のような幅広い楽しみ方があります。ぜひご興味があれば、あなたのまちでも講演させていただきます。

【動画同好会活動】

私は上記のセミナーの通り、映画鑑賞が趣味で、学内では動画同好会という活動の指導教員をしています。

動画同好会では、『ショートムービー』の制作は勿論のこと、演者育成やシナリオ作成にも貢献する『演劇』や、外部から依頼を受けての『PR 動画制作』も行っています。

例えば、右図は、大人気の鈴鹿高専水泳部とコラボしたウォーターボーイズシンクロ公演 PR 動画です。



【結び】

このように鈴鹿高専は、授業や研究だけではなく幅広い活動をしています。もしもご興味があれば学校のHPもご覧ください。

<https://www.suzuka-ct.ac.jp/> 『鈴鹿高専』で検索!